

Title	H.pylori感染胃粘膜におけるToll-like receptor 4(TLR4)の発現についての研究
Author(s)	朝日, 佳代子
Citation	大阪大学, 2007, 博士論文
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/47399
rights	
Note	著者からインターネット公開の許諾が得られていないため、論文の要旨のみを公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、 〈a href="https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed"〉 大阪大学の博士論文について 〈/a〉 をご参照ください。

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

氏名	朝 日 佳 代 子
博士の専攻分野の名称	博 士 (保健学)
学位記番号	第 21024 号
学位授与年月日	平成 19 年 3 月 23 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当 医学系研究科保健学専攻
学位論文名	<i>H. pylori</i> 感染胃粘膜における Toll-like receptor4 (TLR4) の発現についての研究
論文審査委員	(主査) 教授 川野 淳 (副査) 教授 山本 容正 教授 岩谷 良則

論 文 内 容 の 要 旨

Toll-like receptor (TLR)4 は、グラム陰性外膜構成成分 (LPS) に対応し、この反応には MD-2 が重要な役割を果たしている。しかし、*H. pylori* 感染胃粘膜における、TLR4、MD-2 発現については未だ不明である。本研究ではヒト *H. pylori* 感染胃粘膜における TLR4、MD-2 発現の変化について検討を行った。その結果、*H. pylori* 陽性例では幽門部、体部ともに *H. pylori* 陰性例に比して TLR4、MD-2 mRNA の発現は有意に増加していた。さらに、IL-8 産生も *H. pylori* 陽性例で有意に亢進していることが明らかとなった。*H. pylori* 陰性例では幽門部粘膜での TLR4 および MD-2 mRNA の発現は体部のそれと比較し有意に低かった。また、免疫組織学的検討においても、同様の結果が得られた。*H. pylori* 陰性後では TLR4、MD-2、IL-8 発現は、*H. pylori* 陰性例と同レベルとなった。以上の成績より、*H. pylori* 感染はヒト胃粘膜の TLR4、MD-2、の発現増加を引き起こし、IL-8 産生を亢進し、炎症反応を誘導することが示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

Toll-like receptor (TLR)4 は、グラム陰性外膜構成成分 (LPS) に対応し、この反応には MD-2 が重要な役割を果たしている。しかし、*H. pylori* 感染胃粘膜における、TLR4、MD-2 発現については未だ不明である。本研究ではヒト *H. pylori* 感染胃粘膜における TLR4、MD-2 発現の変化について検討を行った。その結果、*H. pylori* 陽性例では幽門部、体部ともに *H. pylori* 陰性例に比して TLR4、MD-2 mRNA の発現は有意に増加していた。さらに、IL-8 産生も *H. pylori* 陽性例で有意に亢進していることが明らかとなった。*H. pylori* 陰性例では幽門部粘膜での TLR4 および MD-2 mRNA の発現は体部のそれと比較し有意に低かった。また、免疫組織学的検討においても、同様の結果が得られた。*H. pylori* 除菌後では TLR4、MD-2、IL-8 発現は、*H. pylori* 陰性例と同レベルとなった。以上の成績より、*H. pylori* 感染はヒト胃粘膜の TLR4、MD-2、の発現増加を引き起こし、IL-8 産生を亢進し、炎症反応を誘導することが示された。

本研究は、*H. pylori* 感染によって、TLR4 ならびに MD-2 発現の誘導が幽門部および体部粘膜では異なることを明らかにし、さらに、*H. pylori* 感染による炎症反応惹起が TLR4 を介することを示したものであり、学位授与に値するものと認める。